

免税統計+免税電子申請スタート

このたび、2019年年間（1～12月）の免税売上調査を実施いたしました。回答があった139店舗の年間免税売上総額は2015年の調査開始以来最高の約223億円に達しました。伝統工芸品店においては約半数が免税売上が増えたと回答しておりインバウンド消費が京都らしい商品の販売を後押ししていることが分かりました。

また本年4月1日からは免税販売手続きの電子化が開始となります。1年半の移行期間がありますが、その間に電子化対応が必要となります。京都市観光協会では免税店向けの相談窓口を開設しております。電子化について不明点などございましたらお気軽にご相談ください。



受入環境整備課 075-213-0070
ukeire@kyokanko.or.jp

人事異動のお知らせ

4月1日付けで、人事異動を行いました。

<新任>

- 事務総長 西村 健（京都市より派遣）
- 事務局長 西川 千嘉子（京都市より派遣）
- 参事（京都総合観光案内所所長及び京都市河原町三条観光情報コーナー所長） 柴崎 孝之
- 京都総合観光案内所参与 永井 久美子
- 担当部長（マーケティング課長及び広報・プロモーション課長事務取扱） 嵯峨 亜希子
- 受入環境整備課長 大畑 真太郎（京都市より派遣）

<異動>

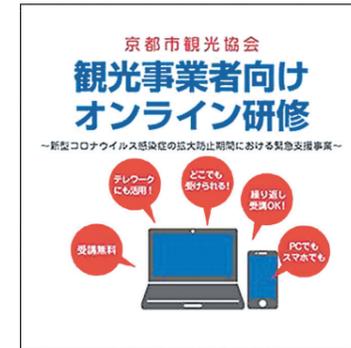
- 前専務理事 高畑 重勝（京都市へ）
- 前事務局長 土橋 聡憲（京都市へ）
- 前担当部長 水上 大嗣（京都市へ）

京観協だより

2020 Spring

京都市観光協会は、DMO法人として世界の観光をリードするエキスパート集団を目指します

新型コロナウイルス関連緊急支援事業 オンライン研修動画公開



新型コロナウイルスの感染拡大防止期間における緊急支援事業として、京都市観光協会では、会員の皆様を対象に、緊急支援助成金制度を設けました。施設の消毒や清掃、衛生対策用品の購入などの「感染拡大防止」や、販路開拓、プロモーション・広告などの「回復準備」などに対し助成するというもので、多くの会員の皆様から申請をいただきました（申請受付は既に終了しております）。

また、現在、観光関連施設等において、休業や観光客減少に伴う業務の縮小等が生じていることを受け、今後の回復期における誘客プロモーションに備える観点から、オンライン研修（ウェビナー）の動画配信を行っております。

観光客減少対策や事業継続計画（BCP）など経営者向けのものから、デジタル活用や京都観光の知識を学べる観光研修、英語・中国語による外国語研修など従業員向けまで、5つのテーマで21のメニューを当協会ウェブサイト（https://www.kyokanko.or.jp/news/20200318_2）で公開中です。京都市内の観光関連事業者の方であれば、どなたでも受講することができます。ぜひ、ご活用ください。受講後、受講証明書のダウンロードも可能です。

さらに、会員の皆様からのご要望を受け、就業前の従業員の健康チェックに使っていただけの「従業員向け衛生チェックシート」や、感染症予防のための啓発や注意喚起のために使っていただけるピクトグラムを制作いたしました。当協会ウェブサイト（https://www.kyokanko.or.jp/news/20200407_2）からダウンロードいただき、掲示物や印刷物等にご活用ください。



京都市観光協会 データ月報2月号ダイジェスト版

～新型コロナウイルスの影響による市内59ホテルにおける宿泊需要の変化～

緊急特集

こんにちは。京都市観光協会マーケティングを担当している堀江です。

新型コロナウイルスの影響により、2月は外国人観光客数が前年同月比53.8%減と過去最大の下げ幅となりました。とりわけ、中国は同76.7%減となり、1月末からの訪日団体旅行禁止に始まる渡航規制の影響を大きく受ける結果となりました。一方で、日本人は4.7%減に留まりましたが、3月以降は一斉休校や観光施設の休業、イベントの自粛等が相次いでいることから、かつてない影響がもたらされるでしょう。航空路線も大幅に減便・運休しており、加えて3月24日には東京オリンピック・パラリンピックの延期が発表されるなど、先行き不透明な状態は当分の間続くと思われませんが、来たるべき回復期に備えるため、今後の見通しを少しでも明らかにできるよう、分析結果をお知らせして参りたいと思います。



堀江 卓矢
マーケティング専門官

1. 客室稼働率および外国人比率



各月の詳細のレポートはこちらから



2. 宿泊者数の伸率（前年同月からの増減率）

	2020年2月	2019年2月	伸率
日本人宿泊客数	228,449人	239,795人	▲4.7%
外国人宿泊客数	94,358人	204,309人	▲53.8%
総宿泊客数	322,807人	444,104人	▲27.3%
販売可能客室数	361,633室	322,099室	12.3%

3. 外国人宿泊者の国・地域別伸率



令和2年度 定時総会について

令和2年度定時総会については、以下の日程で開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催方法を検討しております。詳細につきましては、5月初旬に改めて書面にてご案内申し上げます。

開催日時 令和2年6月11日(木) 午前10時開会

会場 ウェスティン都ホテル京都（東山区三条けあげ）

※例年終了後に開催しておりました昼食懇談会は開催いたしません。

新型コロナウイルス感染症対策として、京都市が「中小企業等緊急支援補助金」を創設

京都市内の中小企業等が、市民の安心安全を確保するために実施する感染症予防のための事業や危機的状況乗り越えるために実施する事業、事業継続のために必要とする取組に対する補助金が、京都市において新たに創設されます。

詳細は、京都市のホームページや同封のチラシを御覧ください。

中小企業等緊急支援補助金の概要

■助成対象者

①中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者のうち、売上が50%以上減少したもの

②商店会、業界団体等

※観光事業者等緊急支援補助金の交付を受ける者、大企業・みなし大企業等は対象外。ただし、観光事業者等緊急支援補助金を辞退した場合、中小企業等緊急支援補助金を申請することができます。

■補助内容

- ・消毒液・マスクなどの購入費
- ・衛生対策のための店舗改修・備品購入費
- ・宅配・デリバリー・テイクアウトの実施経費、容器・包装・チラシ代
- ・回復期に向けたスキルアップ研修 など

■補助率

売上が50%以上減少の方 3/4以内
売上が80%以上減少の方 4/5以内

■補助金額

上限30万円

■申請方法

郵送のみ（先着順ではありません。）

■申請受付期間

令和2年5月11日～15日（当日消印有効）

■交付決定

5月末頃

■お問い合わせ先

コールセンター 0570-000-328
9:00～17:00（土・日・祝日も可）

新型コロナウイルス緊急対策等について

京都商工会議所（以下京商という）では、通常の販売ができずお困りの京商会員企業・店舗の商品・製品・サービスの情報や、感染症対策関連商品等の情報を公開し、一般消費者や事業者の皆様へ広く周知するためのWebサイトを4月15日に開設されました。

会員の皆様におかれましては、京商会員でなくとも利用が可能です。この機会に、是非ご活用ください。なお、ご利用に際して、会員の場合は、掲載申込みフォームの企業名の横に必ず「観光協会会員」とご入力ください。

また、京都市の公式サイト「京都市情報館」では、事業者向け補助金・助成金の情報が一覧で掲載されていますので、こちらもご覧ください。

京商支線サイト

検索

京都市事業者向け補助金・助成金

検索

京都総合観光案内所等の一時閉所について

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、当協会等が運営する京都総合観光案内所（京ナビ）、京都市河原町三条観光情報コーナー、二条城売店、旧三井家下鴨別邸は、当面の間（5月6日まで）一時閉所しています。再開等の情報につきましては、京都観光オフィシャルサイト「京都観光Navi」で公開してまいります。

▶ <https://ja.kyoto.travel/information/>



「京の冬の旅キャンペーン」事業報告

JRグループをはじめ関係機関の協力のもと、冬季観光客誘致対策事業「第54回 京の冬の旅」を開催しました。「京の御大礼 雅の御所文化」「明智光秀と戦国の英傑たち」をテーマとした「非公開文化財特別公開」では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一部休止やガイドによる案内の制限などの影響がありましたが、対前年比83.8%の269,355人のお客様にお越しいただきました。

また、特別公開箇所等を巡る「定期観光バス特別コース」や体験型イベント「京都「千年の心得」「京のたしなみ」「食遊業都」など、メインテーマ「京都にみる日本の文化」にあわせた体験型イベントを実施。観光客の少ない朝や夜のイベントも開催し、観光客の分散化に取り組んだほか、様々な文化の発信にも努めました。

「京の冬の旅キャンペーン」は毎年1～3月に開催しており、「観光施設とくどくサービス」へのご参画など、会員の皆様におかれましては事業へのご活用をご検討ください。



設立60周年記念ロゴマークを作成

京都市観光協会は昭和35年（1960年）5月1日に設立し、今年で60周年を迎えます。そこで令和2年度を60周年記念事業対象期間と位置づけ、今後展開する事業のPR等で使用する60周年記念ロゴマークを作成いたしました。

京都市観光協会60年の歴史を60個のパーツで構成する「御所車」で表現しており、円状の形は「地球や調和」を、各パーツを隔てる白線は「相互理解やネットワーク」を意味しています。

また、DMO法人としての活動の対外的発信を更に強化することを目的に「DMO KYOTO」を通称として掲げ、これを象徴するロゴタイプを作成しました。DMOのMが、ManagementとMarketingの双方を意味していることから、Mの文字を二重にしたデザインを採用しております。



新入会員の紹介

（入会日順）

ご入会ありがとうございました。
これからよろしくお願いいたします。

会員名	代表者	事業内容
株式会社 ワイズワークスプロジェクト	代表取締役社長 松田 直人	インターネット調査分析・コンテンツ企画・制作等
株式会社 LINXEED	代表取締役 日浅 二郎	広告・宣伝・PR事業
一般社団法人 KYOTO JOURNAL	代表理事 JOHN EINARSEN	出版・イベント主催
グラフ 株式会社	代表取締役 北川 一成	印刷・デザイン
フードダイバーシティ 株式会社	代表取締役 守護 彰浩	食に関わるコンサルティング・情報発信
MagicalTrip 株式会社	代表取締役 鈴木 康裕	インバウンド旅行事業
ジェラート・ベネ 株式会社	代表取締役会長 沖 教子	ジェラート製造販売・文化体験教室
株式会社 DESIGN WORKS ANCIENT	代表取締役 小林 裕介	生活雑貨の企画・販売・輸入・製造・卸
株式会社 J&J Tax Free	代表取締役社長 大本 昌宏	免税店の業務負荷軽減ソリューション提供
京都観光再発見懇話会	代表 亀田 正昭	観光ガイド
学校法人 ノートルダム女学院	理事長 和田 環	大学・高等学校・中学校・小学校
照月	女将 清水 綾乃	和食料理店
株式会社 AirX	代表取締役 手塚 究	旅行手配事業・航空運送代理事業
西陣織あさぎ美術館	館長 塚本 喜左衛門	西陣織による芸術作品の展示
KYOTO SAMURAI & NINJA MUSEUM with EXPERIENCE	代表 アジャル 加代	侍・忍者に関する体験型アミューズメント
株式会社 ビジコム	代表取締役 中馬 浩	ソフトウェア開発・販売
ヒューリックホール京都	柏 敏行	ホール運営・まちづくり事業
凸版印刷 株式会社	関西事業部 事業部長 山中 欣也	印刷業
株式会社 ワコールキャリアサービス	代表取締役社長 吉田 敦夫	労働者派遣業
平野の家 わざ 永々棟	普照 良彦	各種文化事業
株式会社 弘徳	代表取締役 宮本 一希	飲食業・イベント企画運営
そわか	代表取締役 山崎 亮雄	宿泊施設
株式会社 オーシャンブルースマート	代表取締役 小竹 海渡	シェアサイクル
有限会社 ゼネラルソフトウェア	代表取締役 田中 三也	ITコンサルティング・WEBサイト制作運営
リヴェルト京都鴨川	支配人 成田 和弘	宿泊施設
大原野神社	宮司 齋藤 昌通	神社
株式会社 朝日新聞社	寺社文化財みらいセンター長 鈴木 直哉	日刊新聞の発行他
株式会社 アイロード	代表取締役 福永 栄子	出版・旅行・イベント企画・広告他